

「スターオブライフ」と「救急車適正利用」



2025年（令和7年）は「巳年」です。
救急車に描かれている「ヘビのマーク」をご存じですか。
当消防本部の救急車にもこのマークが描かれています。

ヘビのマークは「スターオブライフ」と呼ばれ、世界的に救急医療の象徴として使用されています。その背景には、ギリシャ神話に由来する医療のシンボルの歴史があります。ギリシャ神話に登場する医学の神「アスクレピウス」は、死者を生き返らせる伝説があることから、アスクレピウスが持つヘビの巻き付いた杖（アスクレピウスの杖）が医学のシンボルとなりました。



さて、令和6年の当本部の年間救急出動件数は「8,475件」となり、過去最高件数であった昨年を上回る件数となりました。全国的にも救急出動件数は増加傾向で、搬送された方の半数以上を軽症者（入院加療を必要としないもの）が占めているのが現状です。

「救急車適正利用」は、限りある地域の医療資源を守り、強いては自分や大切な人の命を守ることに繋がります。引き続き、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急車利用マニュアル（消防庁）

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>

※滋賀県の救急安心センター事業（＃7119）は令和7年10月に開始されます。
（救急安心センター事業（＃7119）とは、急な病気やケガをしたときに相談窓口として専門家から電話でアドバイスを受けることができる事業です）